

山陽小野田市議会

平成27年9月議会
議会報告会

プログラム

- * 開会挨拶
- * 9月議会の報告
 - 総務文教常任委員会
 - 民生福祉常任委員会
 - 産業建設常任委員会
 - 一般会計予算決算常任委員会
- * 質疑応答

総務文教常任委員会

議案第75号 平成26年度山陽小野田
市小型自動車競走事業特別会計歳入歳
出決算認定について 他
計 議案6件



厚狭複合施設 正面から



厚狭複合施設 体育館棟

厚狭複合施設の視察から

● 総務委員会の見解・課題

- ワークショップ等が出た意見、委員会の指摘が反映されていない
 - ・視聴覚室、展示コーナーが狭い
 - ・保健センター調理室の活用に工夫を(書庫転用)
 - ・体育館棟の空調は十分か(換気扇、戸の開放)
 - ・体育館棟のトイレ対応は十分か(便器の数)
 - ・防音室が単なる会議室
 - ・防災倉庫に問題あり(倉庫の形態、立地状況)

教育委員会の学校給食センター 視察研修報告から

● 教育委員会の見解

体制を整えれば、現在と同じ水準のアレルギー食対応が可能である。



長野県松本市東部給食センター

● 総務委員会の見解

- ① 松本市のアレルギー食対応は、「使わない」「持ち込まない」の原則を作り、複雑化を避けた対応をしている
- ② 本市の目指す県下一、「最低でも現状を下回らない」アレルギー対応の実現、調理員の戸惑いを払拭することについては、依然重い研究課題として残っている。
- ③ 今後設置される「学校給食運営委員会」がすべてにおいて、重要な役割を担うことを、共に認識し、動向には特に注視をしていくことを確認した。

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一问一答で行います。
- * 質問内容は簡潔をお願いします。

民生福祉常任委員会

議案第69号平成26年度山陽小野田市
国民健康保険特別会計歳入歳出決算認
定について 他
計 議案5件

市民病院の決算について



● 概要

○患者数

	1年間	1日平均	昨年比
入院患者	58,812人	161人	1,741人減
外来患者	105,066人	434人	1,100人増

○収益

	収益	昨年比
入院収益	20億2,729万5,387円	6,589万6,000円減
外来収益	8億177万2,256円	3億5,900万5,000円減

※新病院への移転、休診、院外処方の完全実施により昨年度より減少

● 主な質疑

累積欠損金

- * 33億円の累積欠損金の発生防止、早期解消策は
→経営改善 背水の陣で頑張る

新病院建設工事

- * 建設事業の地元発注状況は
→30億円の予定に対し、実績は約21億円
- * アスベスト除去が追加工事となった原因は
→契約には調査費のみ計上。発見された場合は
追加工事となる仕様



- 主な質疑

院内保育と医師確保

- * 院内保育所の利用状況は
→5名の利用があるが、医師の利用者はいない
- * 現在の医師数は
→常勤医師25名 非常勤医師2名



- 結果 全員賛成で認定

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔をお願いします。

産業建設常任委員会

議案第68号 平成26年度山陽小野田市
駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定に
ついて 他 計 議案9件

水道事業決算



- 概要
※ 有収水量737万9279トン(前年度より約5%減)
→ 料金にして約5775万円余りの減収
- 業務量の推移(上水道・簡易水道)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
給水人口	64,799人	64,292人	63,978人
給水戸数	28,258戸	28,256戸	28,402戸
配水量	9,070千トン	8,967千トン	8,487千トン
有収水量	7,859千トン	7,768千トン	7,379千トン

↑
近年にない大幅な落ち込み

● 主な論点

※ 有収水量が大幅に減少している要因は？

節水意識の
向上

節水機器の
普及

天候の影響

※ 今後の対策は？

実態の把握

水道施設の
長寿命化

歳入の確保

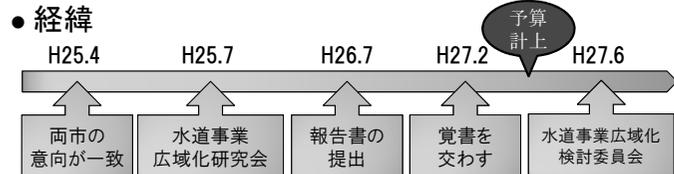
● 結果 認定(賛成多数)

宇部市との水道事業広域化

● 背景



● 経緯



年内に中間報告、来年3月に素案が提出

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔をお願いします。

一般会計予算決算常任委員会

議案第79号 平成27年度山陽小野田市
一般会計補正予算(第2回)について

議案第67号 平成26年度山陽小野田市
一般会計歳入歳出決算認定について

平成27年度一般会計補正予算(第2回)

● 概要

- ・ 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業
- ・ 厚狭地区複合施設整備事業
- ・ 公立大学法人設立準備事業
- ・ 新火葬場整備事業など

● 補正額

3億3,765万8,000円増額

予算総額252億3,646万4,000円

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業

外国語表記観光マップ新刊事業 (500万円)

● 事業内容

- ・ 本市観光情報の提供のための外国語マップ作成
- ・ 英語、韓国語、2種類の中国語に翻訳 各2万部

● 審査概要

財源があるから作成するのか。なぜ必要なのか。

↳ 本市を視覚的に分かる体制づくりが必要

多言語表示の取組が必要では。

↳ 多言語表示は県事業で取り組む。

厚狭地区複合施設整備事業 (1,684万7,000円)

● 事業内容

- ・ 職員の駐車場の整備
- ・ 老人福祉作業所厚狭陶好会館移設整備など

● 審査概要

当初、職員駐車場は複合施設内に整備予定

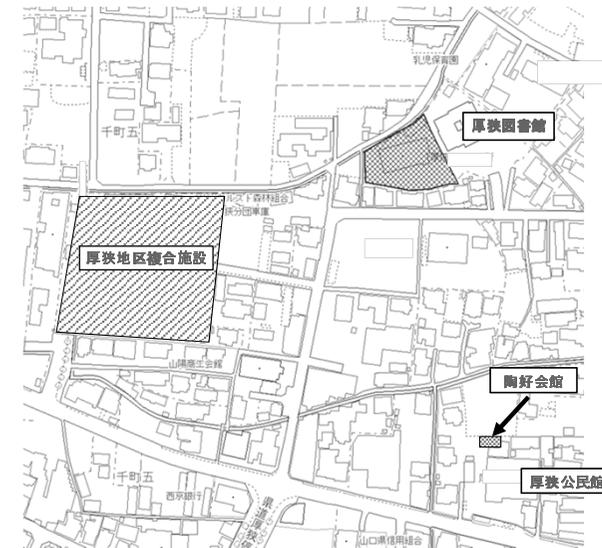


現厚狭図書館横の市有地に変更 出入口用橋設置

現厚狭公民館横の厚狭陶好会館



同市有地に移設 80㎡新築 窯移設



● 委員意見

進入路は幅員も狭く、地域住民に影響が大きい。
なぜ当初計画に陶好会館の移設がなかったのか。計画性が十分とは思えない。
場所の選定も含め、再検討が必要である。



● 修正案

これらの事業予算を全額削除
委員全員賛成で可決
計画を練り直して事業化するよう要請

修正以外の部分は全員賛成

平成26年度一般会計決算認定

審査方法

主要施策の中から31事業を抽出し審査

歳入額 298億7,071万8,632円

歳出額 292億8,786万3,946円

5億3,567万981円を繰越し

① 転入促進事業

人口減少の抑制、定住促進施策として、転入奨励金を5年間交付

● 審査概要

交付実績・・・139件、778万4,900円
26年度初年度分申請68件

事業の目的は転入者増。
第2、第3の事業の含めた総括が必要では？



かなりの成果あり。
第2、第3の事業は地方創生の枠組みで検討

② 乳幼児医療費助成制度拡充事業

小学1年から3年まで児童の保険適用医療費自己負担分を3割から2割に軽減

● 審査概要

平成26年8月から実施
受給者数・・・1,675人のうち945人、56.7%
26年度実績・・・5,520件、381万7,896円

地方創生交付金を積極的に活用しないのか



今回は先行型で27年度まで
積極的戦略として位置付ける必要あり
地方総合戦略の中で検討

③ 地域公共交通活性化事業
地域内の交通移動サービスの向上
地域公共交通の活性化

● 審査概要

厚狭北部地域で効果的、効率的な移動方法の確保のため、平成27年1月からデマンド型交通導入

地域連携計画をどうするかが、目的ではないか。



連携計画の目的は公共交通の効率化だが、実現していない。

新交通網計画を今年度策定予定

結果 賛成多数で認定

平成26年度決算認定の附帯決議

- 1 事業評価を適正に行えるよう、事務事業評価方法をさらに改善するとともにその評価を次年度以降の事業に確実に結びつけられるようにすること。
- 2 人口減少に歯止めをかけ、定住促進を図るため、新たな転入促進事業を早急に実施すること。
- 3 少子化対策の重要な位置付けとして、乳幼児医療費助成制度拡充事業を他市に劣らないものに充実させること。
- 4 一向に進まない地域公共交通活性化事業の早期遂行を図り、本市の交通体系を確立すること。

質疑応答

* 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。

* 質問は一問一答で行います。

* 質問内容は簡潔をお願いします。

ありがとうございました

アンケートにご協力ください